

申請事業計画書 記入例

(「参加者公募事業」、「国民文化祭参加申請用」は別様式です。)

| 団体名 | 〇〇〇 | 事業名 | |
|---|-----|-----|--|
| <p>(1)申請事業の概要 * 事業内容をわかりやすく具体的にご説明ください。</p> <p>活動拠点である〇〇市内にある史跡「〇〇」を題材にした演劇を、その史跡と関係が深い〇〇町で上演する。会場は町の中心に近い古民家を利用した交流施設とする。脚本、演出、舞台監督などは団体自らが手がけ、脚本制作では歴史研究会、舞台道具ではアマチュア書道家に協力してもらう。また、〇〇町在住の方にも一部出演してもらう。公演後にはアフタートークも実施する。</p> | | | |
| <p>(1)の詳細(日時、会場、出演・共演者、演目、曲数など。体験事業の場合、参加者の条件・人数、講師名、展示事業は点数や種類なども)</p> <p>演劇「〇〇〇…」公演 (史跡の説明、あらすじは別添資料参照) 日時：7月4日(日) 会場：〇〇市〇町 旧〇〇家 交流の間 (定員 〇〇人) ①公演：開演 14:00 (終演予定 15:20) 作・演出：〇〇(団体代表) 協力：〇〇郷土史研 出演：団体会員、〇〇町在住の方 〇人 舞台道具：〇〇 〇氏 (〇市在住のアマチュア書道家) 舞台監督：〇〇(団体代表) 音響、照明：〇〇 ②アフタートーク：15:30～(約40分) ・出演者のほか、郷土史研究会、書道家にも参加</p> | | | |
| <p>(2)この事業の目的、また地域や参加者・関係者にどのような影響や効果を期待したいか、分野(地域文化・芸術文化・国際文化)を意識し、簡潔にご記入ください。</p> <p>演劇活動や公演が少ない地域に出かけ、演劇の楽しさや多様性を伝えることを目的としている。また、既存のもの(題材や会場)を活用することでその土地に合った文化活動ができることを体現し、相互交流を実行したい。〇〇町はUIターン者も多いので、参加・鑑賞してもらうことで地域の魅力発見や郷土愛の育成につなげ、定住のきっかけや今後の地域づくりにも貢献できればと思う。</p> | | | |
| <p>(3)事業のポイント * 具体的にご記入ください。</p> <p>①特色や工夫点、特に意欲的な点</p> <ul style="list-style-type: none">・住民が気軽に出席しやすい町中の交流施設を会場とする。最大限生かした演出、客席との近さや臨場感で観客の心を掴む。・演劇への親近感を持ってもらおうと、地元の方にも出演してもらい、またアフタートークを行う。自由闊達な意見が出やすいよう工夫する。 <p>②継続事業(過去にも実施したことがある)の場合、前回との違い(改善点・見直す点)をご記入ください。①と重複しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・活動拠点から離れた地での公演は今回が初めて。広報不足が懸念されるので、各種団体の協力が不可欠。・以前も歴史的題材を扱ったことがあるが、背景知識の不足を補うため、歴史研究会のアドバイスを受け、また演出では書道家の力を借りる。 | | | |
| <p>(4)申請事業における継続計画をご記入ください。* 団体の継続性ではなく事業の継続性</p> <ul style="list-style-type: none">・来年2月に〇〇市で開催される「〇〇フェスティバル」に出展し再演する。・2年に1回は移動公演を行う。・(海外事業の場合) 〇月〇日に〇〇国で公演を行う。 | | | |

事業のあらましを簡潔にまとめてください。

・(1)の詳細を箇条書きで具体的にご記入ください。
・事業によって記入項目が異なります。
・演奏会事業で曲数が多い場合は「約〇曲」とまとめてください。
※抽象的な書き方はしないでください。

新規事業の場合、①をしっかり書き込んでください。
記入欄が足りない場合は、②の欄もお使いください。
(団体の紹介などを書かないでください。)

新規事業以外は、②の欄が非常に重要です。
(前回の結果や反省、課題を今回の計画にどう反映させるか、チェックポイントになります。)

・継続性は大きなポイントになります。
・県外や海外での事業の場合、実施した成果をどの様に島根県内に還元するのか、フィードバック方法についてもご記入ください。

● 継続申請の場合、前回の書類の日時だけ直すのではなく、必ず全体を書き直し、改善点を重点的に記入してください。(審査で比較します。)

● 参加者公募事業(詳細HP)⇒専用の様式をダウンロードしてお使いください。